

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)		川西市参画と協働のまちづくり推進会議	
事務局(担当課)		地域分権推進課	
開催日時		平成24年3月19日(月) 午後5時から午後6時	
開催場所		庁議室	
出席者	委員	高畑副会長、相川委員、磯部委員、荻田委員、荻本委員、奥村委員、佐伯委員、佐島委員、土肥委員	
	その他	地域・相談課長 市民活動センター・男女共同参画センター指定管理者 (特活)市民事務局かわにし	
	事務局	総合政策部長、地域分権推進課長、同課課長補佐、同課主任、	
傍聴の可否		可	傍聴者数 2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		(1) 開会 (2) 基本計画の策定にかかる提言(中間とりまとめの提出) (3) 閉会	
会議結果		別紙議事録のとおり	

## 審議経過

【開会】  
副会長

ご案内しておりました時間が参りましたので、「第9回川西市参画と協働のまちづくり推進会議」を開会させていただきます。

本日は、ご多忙にもかかわらず、お集まりいただきありがとうございます。急速、会長がご欠席になりましたので、私が議事進行を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。本日は、会長以外は皆さんご出席です。

今日の予定ですが、メインとしては、これまで8回に渡って議論してきたものを中間的にとりまとめた「中間提言」を市長にお渡しさせていただきます。その後、23年度に開催された地域別懇談会の概要と今後の推進会議のスケジュールを事務局より説明していただき、だいたい6時前後を目途に終わらせたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

では、早速、議事1に入らせていただきます。

前回、委員の皆さんより提言案についてご意見をいただき、それを反映させたものを事前に皆さんに送らせていただきました。

それについて、ご意見いただいたものについては、最終的に会長と事務局にお任せすることにしていましたので、調整をしていただきました。その部分について、事務局よりご説明いただき、ご了承いただいたのちに、市長にお入りいただき、提言をお渡ししたいと思います。

その際、委員の皆さんから、一言ずつ、時間的には30秒くらいで、この中間提言に込めた思いを市長に述べていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、事務局より説明をお願いします。

事務局

前回、委員の皆様よりご意見をいただき、修正したものを郵送させていただきました。今日、お手元に中間取りまとめということで置かせていただいておりますが、4ページをご覧ください。

以前に送らせていただいた後にご意見いただいたところは、4ページの一番下、「3事業者」の部分になります。

今日配布している資料として、右肩に「変更箇所」としたA4一枚ものの資料がございますが、こちらが変更前と変更後を書いたものでございます。

委員より、「事業者の方でもイベントなど新しい動きがあるようだ

し、もう少し未来志向の書き方がいいのではないか、前回ご欠席の委員に意見を聞いてはどうか」というご意見をいただきまして、前回欠席の委員へその旨お伝えし、また、会長とも調整させていただきまして、このような表現に改めさせていただいております。

変更後を読ませていただきますと「3 事業者 市内には、さまざまな職種の事業者が活動しています。また、事業者を中心に構成された諸団体があります。これまでも、様々なイベントの企画運営などを通じ地域課題に取り組んできましたが、事業者の立場を越えて、地域住民と課題解決に向けて取り組むという関係にはありませんでした。しかし、現在、事業者が、市民と共に活動できる場や機会を持つようとする動きが盛んになってきています。事業者は、地域間のネットワークを備え持っています。地域での主体の一つであるとともに、志縁団体と同様、地域と地域をつなぎ、市域全体の地域活性化のけん引役としての役割がさらに求められています。」という記載に修正させていただいたところでございます。以上です。

副会長

ありがとうございます。

市民公益活動団体の部分で、地区福祉委員会は入れていただきましたか。

事務局

はい、その部分については、既に修正したものを送らせていただいております。

副会長

ありがとうございました。

委員の皆さん、今、事務局から説明をいただきました。これで市長に中間取りまとめの提言をしたいと思いますが、いかがでしょうか。ご了解いただけると、ありがたいのですが。

承認

副会長

それでは、各委員さんにご承認いただきましたので、中間提言をお渡ししたいと思います。では、市長にお入りいただきます。

< 市長入室 >

< 副会長より市長に中間提言提出 >

副会長	<p>それでは、各委員さんから一言ずつ、市長に、この提言に込めた思いをお願いします。</p>
委員	<p>頭で考える理想論と、現実にやってみるのとは、ギャップが大きく難しいということは、現場に出て実感しております。皆さんに色々な意見を出していただき、現場で実践できるような、良いまちづくりに向けた報告ができたと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。次の方お願いいたします。</p>
委員	<p>このお話をいただいた時に、他の方にといいましたが、どうしてもというので、気楽に受けさせていただいたのですが、回を重ねて皆さんの意見を聞いているうちに、だんだん自分の勉強不足と委員の重さにびっくりして、まずいなと思っておりました。私は、実際に去年一年、市の委託事業をやりましたので、それを踏まえて感じたのは、やはり、思いの強い人たちと、仕事としてやっている人たちのギャップが非常に邪魔になるのだと実感しました。その辺を何とか埋められる方法が、この中にしっかりと反映されるといいというのが、今の実感です。ありがとうございました。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。次の方、お願いいたします。</p>
委員	<p>どんな政策にしても、それを有効にするのは、市民が元気でないといけません。市民が元気になるためには、このまちが好きだという、このまちが好きになるような仕掛け、あるいはこのまちに住んでいることが楽しいという仕掛けをどんどん作っていくことが一番大事なのではないかと思っています。</p> <p>今度、ふるさと団地再生と産業振興に取り組まれるということですが、良いことだと思います。こういうことが市民を元気付けるのだと思います。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>今回の中間とりまとめは、私としては非常に良いものができたと思</p>

	<p>います。やはり地域の事を考えると、この参画と協働のまちづくりが基本になると思っていますのです。地域分権という非常に難しいことがあります、これが実ると思っています。今後とも、地域のあるべき姿というのは何かということ、色々考えてやっていきたいと思ひます。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。次の方、お願いします。</p>
委員	<p>この中間取りまとめを議論する中で、地域住民を主体とした地区福祉委員会やボランティアグループ、そして福祉施設を運営する社会福祉協議会は、これからより一層、この参画と協働のまちづくりの中で重要な役割を担っていくということを確認できましたので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。次の方、お願ひいたします。</p>
委員	<p>たまたま縁があり川西市で事業を営んでおり、事業者という立場で、この場に出させてもらっています。</p> <p>私も一市民でありますので、そういった切り口でもっとできたらと思ひたのですが、事業者を一手に背負っているのが重かったというのが正直なところでございます。事業者も新しい発想で、観光や賑わいなどを考えていきたいと思ひておりますので、そういう部分で今後も協力できたらと思ひております。ありがとうございました。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。次の方、お願ひいたします。</p>
委員	<p>まちづくりには、ご承知のとおり、様々な立場の方が参加されていると思ひますが、どの立場の方もきつと、川西市を住みやすく、魅力的で活力あるまちにしたいと思ひているに違ひないと思ひます。</p> <p>今回、まちづくりのこの案を考えるにあたり、誰かが頑張ればいいということではなくて、どの立場の人にも役割と責任をきつちりと認識し、それを果たしていくことが大切で、私も一市民として役割と責任を果たしたい、皆でまちづくりをしていきたい、そういう思ひを込めました。よろしくお願ひいたします。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。次の方、お願ひいたします。</p>

<p>委員</p>	<p>会長と私だけが、川西市民以外ということで、皆さんに川西の現状などを教えていただきながら、違った立場から、構造の分析や、他市の事例の中から良いものを提示するような役割をさせていただきました。</p> <p>7ページですが、市民公益活動の支援と協働の話があります。協働というのは、行政から市民への一方的な支援ではなく、相互の変革を伴うものであろうということで、あえて7ページの図では、下の段の職員の意識改革であったり、庁内改革であったり、協働型行政の実現ということを書いています。一方で、行政は行財政改革を脈々とされているわけですが、それと市民公益活動の支援をリンクさせた図を考えました。</p> <p>来年度は、地域の事情に合わせてやり方を変えていかなければいけないのですが、まずは理念ができ上がってきたと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後になりましたが、私は、このまちづくり推進会議に参加させていただき、私自身かなり勉強になった部分があります。コミュニティをやっていた関係上、ある程度は理解していたのですが、更にこの地域分権の内容に関しては、かなり勉強になったと思います。</p> <p>地域全体の、コミュニティだけでなく一般の市民の方、事業者の方、川西市を良くしていこうという気持ちは、皆さん持っておられると感じています。そういうことが、中間的にですが、ある程度ここに集約されていると思います。</p> <p>最終的にはこれからまだまだ継続していかなければならないと思いますが、これをどう受け止めるというよりも、できるだけ活かしていただくようにと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは改めまして、御礼を申しあげたいと思います。</p> <p>今、副会長より、中間取りまとめの提言をいただいたところです。詳しい内容はまだ見ていませんが、8回の推進会議で委員の皆さまのご意見を賜わる中で、中間取りまとめをしていただきました。</p> <p>参画と協働という言葉もかなり皆さま方には浸透してきましたが、私どもが育ってきた歴史から言いますと、行政が町を引っ張っていく</p>

という考え方がずっと続き、経済成長の中では十分に対応できたわけですが、バブルがはじけて以来、そして少子化など色々な問題が発生する中では、やはり行政だけではできないのは当然だという認識を改めて皆さん方に知っていただくことが大事だと思っております。

私も色々地域に出させていただいておりますが、先程もコミュニティの会長さん方と会合があり、まちづくりに参加していただく皆さん方は、かなりそういう認識をお持ちいただき嬉しいことではあります。例えば、この参画と協働の制度でも、パブリックコメントを募集しますが、提出意見が少なく、なんと関心の無いことかと残念に思っております。そういうパブリックコメントがもっともっと出てくるように、私どもがリーダーシップを取らなければならないというのが、まずは反省点だと思います。

推進会議で、このような提言をいただき、これを実行していくことによって、より多くの市民の皆さん方が、「自分達のまちは自分達で」という意識付けを更に広げていただける方法に繋がっていくのではないかと感じております。是非、今までのことは今までのこととして、今後、どのような地域経営をしていくのかということも大事だと思っております。

職員も色々課題を抱えていますが、皆さん方を補佐していくのに、役所として、役人としてのしつかりとした組織作り、意識改革が必要だと思っております。

行政経営改革として、経営品質向上プログラムを入れて4年～5年になります。していることは当たり前のことなのです。でも、当たりの事が当たり前できないのが、世の中でございます。これをしっかりやっていくことで、内部の者の意思統一をしていくことは、かなり整ってきたと思います。そういうことを受けて、次はどのように多くの皆さん方と共にやっていくかということを広げていくことが必要だと思っております。

それぞれ今の時代、多様な時代と言えば言葉が綺麗なのですが、自分の思うようにならない、関心が無いことについては、なかなか協力ができないことがあろうと思っておりますが、自分のまちを自慢したい、自分の住んでいるところを自慢したいというのは共通の思いだと思います。皆さんが参画していけるシステムを構築していくのが、我々の務めだと思っておりますので、是非、委員の皆様には、今回は中間報告ですが、これに限らず、色んなところでご支援を賜りながら、私どもも甘えるだけではなくて、リーダーシップを発揮しながら、協力さ

	<p>せていただけたらと思っております。本当にご苦労様でございますが、今後も色々よろしく願いいたします。本当にありがとうございました。</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございました。市長はこの後ご公務がございますので、ここでご退席されます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 市長退室 &gt;</p>
<p>副会長</p>	<p>それでは、議事2その他について、事務局より23年度に開催された地域別懇談会の概要報告と、今後の推進会議のスケジュールをご説明いただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず今年度実施いたしました地域別懇談会の概要、総括を報告させていただきます。お手元に配布のA3横長の、左上に「平成23年度地域別懇談会の概要」と書かれたものにそって説明させていただきます。</p> <p>今年度、川西市では平成25年度からスタートする第5次総合計画策定の一環として、概ね小学校区ごとに地域の課題やありたい姿などを話し合う地域別懇談会を開催いたしました。市内の14地域でそれぞれ3回ずつ、合計42回開催いたしましたが、この中では自治会、コミュニティ、地区福祉委員会、PTA、子ども会、商店会、老人クラブといった地域の方々にご参加いただいて、延べ728人の多くの市民の方々のご参加をいただきました。どの地域におきましても、白熱した議論が展開されまして、地域の皆様の自分の地域に対する思いを感じました。</p> <p>地域別懇談会から具体的にどのようなことが見えてきたのかということですが、お手元に配布の資料、これは14地域をそれぞれ纏めているのですが、一番上の多くの地域に共通する事項を見ながら、ご説明させていただこうと思います。</p> <p>地域別懇談会を開催しまして見えてきたものが大きく3点ございます。</p> <p>1点目は、それぞれ地域の課題の解決に向けて、地域では既に多くの色々な活動に取り組んでいらっしゃるということです。自治会、コミュニティ、地区福祉委員会といった、いわゆる地縁団体を中心に、例えば祭りなどの各種イベントや清掃活動、また、防犯、見守りとい</p>



った防犯活動。このようなことは、全ての地域で多くの方が参画されて活動されています。これらの活動には、スキルを持った方々が多くいらっしゃいますし、こういった方々が地域の資源であると認識したところです。

2点目は、地域づくりに活用すべき自然、歴史や文化、また人材も含めまして、色々な資源がございました。この地域資源につきましても、それぞれの地域で自慢できるものは何があるかをそれぞれの地域で出していただきました。例えば、川西は周りが山や川に囲まれているので、ホタルや桜の自然環境、遺跡や寺社仏閣といった名勝、こういったものの活用はできないかといったご提案もありました。また、1点目に申しあげました地域の人的資源に併せて、非常に多くの資源を持っていらっしゃるわけですから、これらを地域の課題の解決に向けてどのように役立てていけばよいかということが、2点目で分かったところです。

この表の中では、中程に地域の課題という項目があり、この課題を解決するために地域資源を活用して、色々なことをやっていこうという方策が、地域でやりたいこと、市や他の団体で協力してできること、基本的に市にやってほしいこと、これは共通事項でございますので、少なめには書いていますが、それぞれのグループで色々な提案や課題が出てきたところです。

とは言うものの、3点目に、やはりこの川西が抱えている大きな課題が見えてきたところです。冒頭に、地域では色々な活動をされているとご紹介しましたが、この活動の担い手の発掘や育成、いわゆる高齢化による人員不足がどの地域にも見られますので、この活動の将来を懸念されている声も多く聞かれたところです。例えば、今後定年を迎える団塊の世代が地域に戻られた時に、どのように地域活動に参加をしていただければいいのか。また、若い世代の方々に地域活動に参加していただくために、どういったことを心がければいいのか。さらにボランティアやNPOの方々とどのように連携していけばいいのかについては、本当に早急に対策を検討していく必要があると感じたところです。

総じて申しあげますと、地域には十分な資源があるにもかかわらず、それらをうまく活かす仕組みが現在無く、従って地域活動に色々な閉塞感がうかがえるのではないかとということです。

この地域別懇談会を行っていく中で、地域の置かれている状況はそれぞれ異なっており、それぞれの固有の課題の認識を今後強めていく

とともに、課題解決のためには、市全体の一律の取り組みではなく、それぞれ地域の実情に応じた取り組みが求められていることを改めて認識しました。

このそれぞれの取り組みというのが、来年24年度、我々が取り組んでいく地域分権制度の仕組み作りに繋がっていくものだと感じております。

続きまして、次年度の川西市の取り組みと、この推進会議でお世話になる取り組みについて、A3縦長のスケジュール表を見ながら、ご説明させていただきます。

この表の縦列右から3番目の矢印で、基本計画の策定と書いている帯がありますが、23年度3月のところで、先程市長に提言を提出いただきました。来年度は6回の推進会議と3回の専門部会、合わせて9回の推進会議を開催し、議論いただきたいと考えております。

次年度は基本計画の最終答申に向けた検討になりますが、この推進会議の中で最終答申に向けてご議論を深めていただき、そして、24年度9月を見ていただくと『推進会議「答申」』とありますが、ここで最終答申していただくこととなります。答申をいただいた後、それを尊重しながら、市の方で基本計画案を作らせていただき、できあがったものについては、推進会議に報告させていただき、議会への説明、パブリックコメントを経て、24年度末に策定したいと考えております。

以上が基本計画策定についての流れですが、24年度1月の『専門部会「地域分権のあり方」』から、今は10名いる推進会議の委員の数を少し絞り、他の審議会「総合計画審議会」と「補助金の審議会」の委員の方にも参画いただきながら、川西市の地域分権制度はどうあるべきかというご議論をいただきたいと考えております。

そのご議論をいただくにあたって、例えば地域でどのようなお考えを持っておられるかを聞いていただくために、表の左の方の、8月から2月まで「概ね小学校区単位の地域ラウンドテーブル14地区×3回、合同会2回」を、今年度と同じように、それぞれ14地域に再度私どもが入らせていただきながら、地域のありたい姿を実現するためにはどういった仕組みが必要かということをご議論いただきたいと思っております。

平成23年度の地域別懇談会参加者については、自治会、コミュニティ、地区福祉委員会など、いわゆる地縁団体を中心とし、プラス公募委員の方がメンバーでしたが、24年度につきましては、もう少し

幅広い市民の方の参画をいただきたいと思っております。例えば、自治会に参加していないマンションの管理組合の方や、個人単位の市民の方々、ボランティアやNPO。そういった団体の方々も一緒に、川西市の地域課題を解決していくためにはどういった仕組みが必要かということをお8月から来年2月にかけてご議論いただいたものを、専門部会にフィードバックしながら、川西市の地域分権制度のあり方について、この専門部会でご議論いただきたいと思っております。

それと庁内でも、先程市長が「市職員の意識改革」と申し出ておりましたが、地域分権制度を考えていくにあたって、地域と行政とのパイプ役を担う職員の創設も考えていく必要があるということで、この表の中程のところ、5月中ごろから「庁内ワーキング 地域担当職員制度の創設に向けた検討」ということで、10月頃まで庁内で、地域が課題解決に向けた取り組みをするにあたって、職員はどのような役割を果たしていくべきかということを検討していきたいと考えております。

これは、庁内の色々な職制、年齢層の職員を集めて、地域担当職員の役割やどのような位置付けが必要かを検討した後、求められる職員像や具体的に地域に入りどのような情報を収集し発信すればよいか、また地域の課題をどのように発見していけばいいのかということについて研修を行い、地域分権制度が本格稼働する際には、地域と行政のパイプ役になり、一緒に地域課題を解決していく役割を担う地域担当職員制度を創設していきたいと考えております。

以上、24年度の推進会議の動き、地域でのワークの状況、庁内での検討のスケジュールを説明いたしました。

副会長

ありがとうございました。

地域別懇談会の結果については、現在、最終的な報告書と、それをベースに総合計画の担当課では「地域別構想」の案を作られています。これについては、新年度に入り、次回の推進会議でご報告していただくこととなります。今日は、概要についてのご報告をいただきましたので、委員の皆さんそれぞれでじっくりとお読みいただき、今後ご説明いただく報告書などと併せて、これからの議論に繋げていきたいと思っております。

今日は特にこれについての議論は予定しておりませんが、現時点で何か聞いておきたいことなどあれば、ご発言をお願いします。

委員	<p>8月からの地域ラウンドテーブルですが、参加者は23年度とは変えていくというのは分かるのですが、23年度でも参加者を募るのはなかなか大変だったと思うのですが、24年度の参加者をどのように募集していくのか、人が集まらない可能性があるのではと思うのですが。</p>
事務局	<p>はい、それが我々の最大の悩みです。始まりが8月になっているのは、遅いじゃないかとお感じかもしれませんが、4月から何もしないわけではなく、色々と戦略を練らなければならないと思っています。基本的に地縁団体の方々については、今年度も色々お世話をいただいて、ある程度、活動などは分かってきており、NPO団体であれば市民活動センターに登録されている方や、ボランティアであれば福祉系なら社会福祉協議会のボランティア活動センターに登録されている方は分かるのですが、それぞれ地域の中には、例えば公民館に登録されて色々な活動をされている方など、それ以外にもたくさんの方々がおられ、この方々の把握が必要です。</p> <p>それと、地域に入る前にもう一度、地縁団体、コミュニティ、自治会長さんなどとお話をさせていただき、地域でどんな方々がどんな活動をされているのかを再度お聞きしたいなと思っています。その中には、例えばマンションで管理組合はあるけれども、丸ごと自治会活動をされていないところについてもアプローチしていきたいなと思っています。それ以外にも、街区単位で自治会に入っていないところなど、アプローチの仕方はこれから考えていかなければいけません。こういったところへの働きかけは、いくら広報誌で募集しても、なかなか手を挙げていただけないので、もちろん広報誌で募集もする予定ですが、できるだけこちらから声掛けをして参加いただけるような手法を考えようと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。それともう1点。「ラウンドテーブル」という言い方ですが、これはもう少しやわらかい表現にし、自由に発言できればいいのかと。ワークショップがあったり、地域別懇談会の第2弾があったり。「ラウンドテーブル」という名称はこのままやっっていこうとされているのか、それともこれから検討されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>これから十分検討していきたいと思っています。</p>

副会長	<p>ありがとうございました。私から質問よろしいですか。このラウンドテーブルのやり方なのですが、来年度以降も同じようなやり方でされようとお考えなのですか。</p>
事務局	<p>前は、基本的に、今それぞれの地域で抱えていらっしゃる現状と課題を出していただいて、「こうありたい」というようなワークになっていたのですが、来年度のワークは基本的に違うものだと思っています。当然、地域のありたい姿というのは今回出したのですが、それを解決していくための手法は、今既にある手法もあると思うのです。</p> <p>市から補助金を出ささせていただいて、それを使って色々な活動をしていただいているのですが、補助金が本当に使い勝手の良いものなのかというような検証や、地域によっては自治会とコミュニティの役割分担がまだ不明確だということもあります。こういった今ある課題を地域別懇談会第2弾で扱っていく必要があると思っておりますので、23年度のやり方とは少し変わってくるかと。今、具体的に「こんなやり方」というのは持っていないのですが、必然的に変わっていかざるを得ないと思っております。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。今、NPOに委託されて来ていただいていますよね。それも同じような形でやっていくのですか。</p>
事務局	<p>NPOではなく、コンサルタントなのですが。</p>
副会長	<p>NPOではないですね。ファシリテーターですね。</p>
事務局	<p>今回は、ファシリテーションがメインではなく、先程も言いましたが、地域でどんな進め方がいいのかにまず重きを置き、その結果を元に川西市の今の地域にとってどんな制度が相応しいのかという検討が重要になってきます。コンサルタントになるかどうか分かりませんが、外部の民間委託はしたいと思っておりますが、今回と同じようなファシリテーターを連れてきて、「どうぞ」というような形は考えていません。</p>
副会長	<p>その辺が少し気になっていたのです。ありがとうございます。他の方は。</p>

<p>委員</p>	<p>ラウンドテーブルで考える時に、総合計画というのは10年後の計画ですよ。10年後を考えようとしても、このメンバーでは年寄りになってしまっている。そう考えたら、今より10歳若い方に入ってもらって意見を聞くのもいいのですが、やはり中学、高校、大学くらいのメンバーを入れてもらって、川西市はどういうことをしたらいいのか聞きたいなと思っているのです。一度、そういう子ども達の意見を聞いて欲しいなという思いを持っております。以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>今いただいたご意見も含めて、検討させていただきます。</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>14地域を見ていて、ばらばらだと思うのです。ばらばらというか、事情がものすごく違う。その地域の中でもまた、いくつかのまちがあって、これもまた色々な事情を抱えているわけですね。最終的に地域分権の制度を創設していくという過程の中で、ある程度、地域ごと、まちごとの地ならしのような事が必要になってくるのではないかなと。漠然とした感じですが、そんな気もするのです。その辺については、自然にできていくとお考えになっているのか、市の方から働きかけをやっていくのか、地域ごとに考えるというのか、考えがあればお聞かせいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>先程も少し申しあげたように、今色々な活動を自治会やコミュニティがしているのです。この活動を損なうような取り組みではないと考えています。</p> <p>基本的には、今されている活動は、地域にとって非常に活性化にも繋がっているし、課題解決にも繋がっていると考えています。ただ、地域の中でも、自治会やコミュニティや地区福祉委員会の役割の認識が違う地域もあるということも感じています。その認識の違いを、例えば地域分権制度の仕組みを入れていくにあたって、やはり解決していかなければならないということであれば、そういった方々に集まっていただき、今の制度が新しいまちづくりのやり方に合っているのかどうか、ご議論いただく必要があるというふうには考えています。</p> <p>もう一つ、先程も地域別懇談会の総括のところでも申し上げたのですが、どの地域も今の役員さんや担い手が固定化したままで、限界だと</p>

	<p>おっしゃっているのです。これに輪をかけて、新しい地域分権制度のようなものを入れてしまって、「我々がしんどくなる事はやめてくれ」と強く言われています。こういうことが無いようにだけは、我々は肝に銘じて取り組みをしないといけないなと感じています。</p>
副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
委員	<p>まちによっては、例えば湯山台のように、ある日突然、山を削ってまちができて、一斉に人が入ってきたという所もあるし、何百年も前から住んでいる人達と新しく入ってきた人とごちゃ混ぜになったまちもあるのです。そういった中で、地域分権という言葉だけを与えられて、それぞれが勝手に解釈する。あるいは、訳わからずに取り組んでいくというのではなくて、「地域分権とはこういうことですよ」「こういうメリットがあるのです」という理解を浸透させ、意識の違いが障害にならないような仕掛けが必要ではないでしょうか。</p>
副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
委員	<p>推進会議のスケジュールに関する質問というか懸念なのですが、この縦長の表を見ますと、5月に報告書をいただいて検討する、そして7月には、はや答申案を出す形なのですね。今年度に関しては推進会議の中でできることは限られていたので、来年度の中間答申から最終答申にかけての作業としては、地域の事情や庁内の検討の結果をインプットしていただき、もう少し情報を得る中で最終答申にまとめると理解していた。しかし、このスケジュール案を見ますと、実際にNPOなどが話し合うラウンドテーブルも、庁内ワーキングの担当職員の件もインプットされていない。しかも5月に報告をもらい、7月まで何の会議も無いので、どこで作業をするのか、最終答申というのはどのようなレベルアップしたものを考えているのか見えなくなってしまっています。その辺りを教えて下さい。</p>
副会長	<p>事務局の方、その辺はお答えできますでしょうか。</p>
事務局	<p>当初申しあげていたのは、今回の中間取りまとめに欠けているのが地域分権の仕組み、地域がどのような仕組みを考えているのかという情報で、地域別懇談会の結果からそのことインプットして、それを踏</p>

<p>委員</p>	<p>まえて答申を出そうということだったと認識しております。</p>
<p>事務局</p>	<p>そう説明は聞いていました。</p> <p>24年度8月から始めると最終答申には間に合わないのです。</p> <p>最終答申においては、中間取りまとめにプラスアルファの必要最低限の事柄を加味していただきますが、地域分権制度については、答申には方向性しか載せることができません。具体的な「こうすべきである」という推進会議の結論については、平成25年度のスケジュールに入っていますが、地域分権制度の提言として、答申とは別にいただきたいと考えているのです。</p>
<p>委員</p>	<p>答申とは別に提言を出すのですか？</p>
<p>事務局</p>	<p>答申とは別に地域分権制度に特化した提言をいただきたい。それは、地域でのお考えや庁内での取り組みなどを、平成24年度12月くらいから集中的に審議いただく専門部会の方である程度さばいていただき、それを25年度に提言としてまとめていただいて、市にいただけたらと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>そのやり方でいいかどうかは皆さまの意見を聞くとして、それにしても、中間答申では行財政のことも踏み込んでいますので、庁内ワーキングの情報が共有されない中で議論するのはおかしいと思います。素案の段階でもインプットいただかないと議論できませんし、このスケジュールでは、答申案はどこで話し合うのか、だれが話し合うのか分かりません。</p>
<p>事務局</p>	<p>分かりました。庁内ワーキングについては、今は5月と考えていますが、庁内のことなので、いつでも進められますので、早急に進めながら、順次、情報を推進会議に出しながら、インプットしていただくということにさせていただきます。</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございました。この日程については、また今後、議論していただけたらいいと思います。今日予定している内容については、以上でございます。次回の日程ですけれども、今日は会長が欠席されていますので、事務局と会長の方で調整していただいて、決めていた</p>



	<p>だいたらよいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。できるだけ早めをお願いしたいと思います。</p> <p>では他に、事務局の方より何かありますか。</p>
事務局	<p>失礼いたします。事務局からですが、実は本日の会議をもちまして、1名委員がご都合により退任ということになります。</p> <p>一言ご挨拶をいただいてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>1年間ご一緒させていただいたのですが、自分の勉強不足と任の重さに戸惑いながら座っているのが実情です。自分で色々考えまして、やはり私よりも違う方にここに座っていただいて、私は大学生と一緒にやる活動を通じて、色々なことを川西市にフィードバックする方がいいと結論を出しまして、1年で退任させてくださいと事務局にお願いしました。</p> <p>実は、去年1年間で川西市のある事業で、高校生以上30歳未満の川西市在住の「若者の実態調査」を行いました。実際、川西市に住んでいるそういう年齢の人達が、どういう生活をしていて、どんな事を考えていて、夢とかあるのか。その辺りをアンケートで聞きましたので、その統計も出ています。</p> <p>2月29日には、野口健さんに来ていただいて「夢の入り口再発見」というディスカッション形式の若者トークセッションを行いました。企画・運営については、川西市在住の若い人達と、うちで雇用している若い人達で全部やってもらったのです。最後、打ち上げを兼ねてミーティングをやった時に、川西市在住の大学生の人達が「何か川西市でやりたいのだけれども、何をやればいいのか分からないし、何も無いし、ただ生まれてここに住んでいるだけという感じだ」と言っていました。「でも気持ちとしては、自分が生まれて育った所なので何かしたいし、どういう風になっていくか全くイメージができない」というような素直な感想が出ていました。今回の調査結果を活用いただいて、これからを担っていくそういう人達を巻き込むような取り組みを入れていただければ、やった価値があるのかなと、またそのために受けたのではないかと考えていますので、是非お願いしたいと思います。</p> <p>どちらにしても、川西市を拠点に活動はしますし、もし子ども達や若い人達の事で何かご相談がありましたら、是非お声を掛けていただきたいと思います。私のできることは何でもしたいと思います。皆さま</p>

<p>副会長</p>	<p>ま、ご迷惑をおかけしますが、ありがとうございました。お世話になりました。</p> <p>委員には、これまで約1年半にわたり、NPO法人のお立場で色々ご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>他に何かございませんでしょうか。無ければこれで終了したいと思います。よろしいでしょうか。それでは、本日の推進会議は終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
------------	--